

針葉樹會報

復刊第35号

1972年12月



表紙写真説明

初冬の瓶ヶ森

南国四国にも冬になれば雪が降る。十二月中旬に西日本で一番高い山石鎚山へ行つた。成就社にツェルトを張つてそこから頂上まで往復した。一人でラッセルするのがつらかったけれど、その冬のシーズンで石鎚山登頂したのはぼくが最初だといわれて気持が良くなつた。

その下山のこと。谷を隔ててむこうに見える瓶ヶ森の雪化粧の美くしさに次はあれだと思った。機会のないまま東京へ転勤したため雪の季節に登らずじまいに終つた。

地方への赴任の機会はその地方の山登りの絶好のチャンスです。地方会員の皆様大いにその機会を利用して下さい。

(岡田 健志)

目次

海外だより

ニューヨーク 田中一雄……1
ロスアンジェルス 中川滋夫……2
ロンドン 小林進二……2
テキサス 佐薙恭……3
ミシガン 石弘光……3

デュッセルドルフ 佐藤之敏……4

嵯峨塩温泉懇親会記 近藤恒雄……5
朝日連峰縦走十七句 柿原謙一……6

断絶・秋山・老楽 久保孝一郎……6

消息……
会務報告 三森茂充……10
8

海外だより

ニユーヨーク・田中一雄

Contactなく近々出張の折にでも会いたいものと思っています。

この処、海外で活躍されている会員の方々から、沢山お便りを頂戴しています。針葉樹会宛のものもあれば、大賀個人宛のものもありますが、ここに一部をご紹介させて頂きます。一部の筆者の方には無断です、どうかご

先日はまことに懐かしい皆々様の寄書の力
ードを頂戴、そのあと針葉樹会々報も入手、
皆々様のご配慮、ご厚情身にしみて有難く厚
くお礼申し上げます。

了解願います。なお、文中「ヤロー共」等と
再三出てくるのは、三十六年卒の同期会、「

Post Card の諸先輩各位に夫々お手紙を差し上げるべきところなのですが、同じ会

他の会員で遭難死された方々も顔は存じ上げませんが遙かにご冥福をお祈りします。

斜葉樹三十三号有難う御在ました。御蔭様にて中川孫一様の様子が良く分りました。又先般は寄せ書き戴き感激して居ります。何か

り三年で再び当地に移りもはや二年経過して
森脇大先輩も当地におられお世話になつて
おります。

書かねばと思い乍ら全く仕事の方でモタモタして相済みません。其内何か書きます。皆々 様に宣敷く。又、会費も御払い致度と思つて

おります。ご多忙のご様子にて時折如水会でお目に掛るのみ。小生自身も大変にご無沙汰致しております。

居ります

(九月二十二日、針葉樹会宛)

ことを聞き及びておりますが未だ相互に

ろ、当の山崎兄のお許しを頂く必要ありかと

思いますが、今の言葉でいうカッコイイ

幹事全ク御苦労様デス。

Styleにお変りかも知れませんのでー

当方も最近では全く山から縁が遠くなりました。そのうちに日本へ帰つたら低い所でもとは考えておりますが、実際に山行きのスタイルで山の方へ行つたのはもう十年以上も前にマチガ沢の山中君の追悼にご遺族の方と行つたのが最後であつたかと思います。

小生が此處でなにをしているかは丸山君が

(八月三十日、大賀宛)

大体要領よく説明出来ると思ひますのでお任せ致度。遙かに皆々様のご多幸と一層のご発展をお祈り申し上げます。

会報ご手配頂きおる方々に遅ればせながらお礼申し上げます。

ロサンジエルス・中川滋夫

拝啓。先日ハ針葉樹会ノ寄書懐シク拝受シ

マシタ。全ク御無沙汰ノ連続デ申訳アリマセン。針葉樹会報毎回ドーモオ送リ頂キ恐縮ノキワミデス。昨年秋、石ガ立寄ッタアトモ、色々ナ事件ガ次カラ次エト起キテイルヨーデ、年位に急に日本車がスタイルでも数でも目立

小生アト一年位滞在予定デス。又一緒ニヤロー共ト飲ムノヲ樂シミニシティマス。

皆様ニ宣數。

中川 拝

ちはじめました。これには当国人だけでなく我々日本人もビックリする位です。昔は日本車を見ると、何となくホツとしたものですがこう急に出て来るところちらの奴等が日本車は過保護だと云いたくなるのも解ります。

さて、御依頼の本の件、出張が続いて連絡

遅れ失礼、まあ一ヶ月位は当國では何とも思われぬのであしからず。

生來のブショウで仲々本を読む時間を作れ

なくて今だ未踏の山河も1/3位しか進んでいません。本を読むなら"ネ"てた方が良いと思ふ」されないため、ポンドがドルがオカシク

思ふ位ですから。

又ぞろ日本のTRADE BALANCEが「改善」されないため、ポンドがドルがオカシク

なり、我々物を売るだけの者にとつてはつら

い状況です。それもこれも、自動車(日本の)Pick upして来ています。指もホボもと

が多く他国に出過ぎるのではないかと思つた

通りになり一安心です。(注、数ヶ月前、車

りします。小生がこちらに来た一九六九年ご

ろは、西欧ではフィンランドとデンマーク位

しか見かけなかつた日本の車が、昨年のドル

いた)

どうも日本はケイキが良くない様なので、

シヨックをサカイにしてドッと西欧におしよ

せ、今では西独ですらカッコの良い日本車を

もう少しこちらに居たいと思ひますが、どう

なることやら。(注、四八年一月帰国決定)

どうせ帰るなら田舎へ帰つた方が良い様な

気持です。光化学スモックとか何とかどうも 東京は人間の住む所ではなくなりつつある様ですな。では又。

(四七一七一六、大賀宛)

三一号はどうとう小生の手に入りませんでし
た。若し残部あれば送って下さい。

（四七一九一十六 大賀宛）

では今日はこれにて。

日頃会報をありがとうございます。隅から隅までくり返し読んでいます。また先日は如水会館から
のよせ書きのエハガキを頂きましたが敬愛す
る先輩方のお名前を拝見、うれしかったです。

（一）

近況をお知らせ出来るといふのですが、何
しろ山の実績は全くありません。この夏何と
かまとまつた休みがとれたので家族連れてコ
ロラド州、ロッキー国立公園に出かけ、實に
久し振りに雪渓らしいものの上を歩くことが
出来たことぐらいでしょうか。

仕事のことは、余り書きようがないので、
当社作成のプロパギандを同封します。

さて、お願ひですが

①名簿の小生の住所が六年前のものなので、
送られてくる会報は、ゆつくりTEXASの中

を回送されることになります。今の住所
に直送されるようお願い致します。

②そのせいでしょ、多分、会報二七号も
倒的によく、数多くの学者の米国亡命の理由

がよく分ります。

帰国は来年四月に決定しました。

もう少しあたかつたのですが、一橋の方から新学期から講義・ゼミに間に合うよう
に帰つてこいとの厳命です。それに長男が来
年四月から一年生です。あれやこれや考え、
やはり四月には帰る必要があります。家族だけ
け先に帰し、一人で三週間ほど歐州をまわつ
て四月二〇日までには帰国いたします。

楽しく一息に読みましたが、中川孫さんの悲
報は心が暗くなります。さぞ大変だつたでし
ょうね。小生も在京していたら、真先にお手
伝いに参加すべきでしたが、こちらにいて何
もできずただ残念がるのみです。孫さんとは
一、二度山へ行つたし、マネージャー時代に
もお世話になりました。今となつては、遠く
冥福を祈るのみです。

「会報」三十三号どうも有難うございまし
た。一気に読みおえ、心よい昔の思い出と中
川、平川両氏のことしばし思つて感無量に
なつてゐるところです。今回の会報は實に質、
量ともに読み出があり、ヤロー会の二人の代
表選手の活躍ぶりが一段とひかつてゐるよう

です。

日本を出て一年たちました。もうすっかり
馴れ家族一同とアメリカ生活を大いにenjoy です。

山もスキーもできない日が一年以上も続いている。正確にいふと、山の姿さえみられない日が続いているわけです。山の記事がむやみになつかしくなつてくるといつた次第。

(四七一十一十三 大賀宛)

デュッセルドルフ。佐藤之敏

今夏は母もきたことがあります。本当に良く旅行しました。暑い日のhighwayではオンドロード車がいつもoverheatの危険にさらされピクピクして運転するのは余り楽しくないですな。ナイアガラの滝もお上りさんよろしくみてきました。おふくろは感心していましたけれど、ガケから水が落下しているというだけ

お元気でお過しのことと思ひます。
色々と事情があつて結局中島さんとは会え
ませんでしたが、ジユネーブとの電話で、
時間近く彼と話しましたが、"俺の息子もそ
う一歳になつたよ"と満更でもない様子。山
田さんは山の花につかれたようにお参りして

巾が広いだけ雄大にみえるかなといつていいど
です。New Yorkで一年ぶり（もつと長い
かな）に、「なべやきうどん」をたべ、日本
の味をなつかしく思い出しました。ヤロー共
によろしく。では又。

(四七一十三 大賀宛)

デユツセルドルフ・佐藤之敏
お元気でお過しのことと思ひます。

人の悪口を云う外国かぶれの日本人にはなりたくありません。ただここ日本の商売人の姿には、何か寒々としたものを感じます。それ色々と事情があつて結局中島さんとは会えませんでした。ジユネーブとの電話で、一
時間近く彼と話しましたが、"俺の息子もも外交の成果"などとあげつらっている日中復
う二歳になつたよ"と満更でもない様子。山交、或は沖縄復帰にしても、全ては外界の流
田さんは山の花につかれたようにお参りしてれの圧力と、日本自身のまさに金銭的な利害
いるようですね。

クアラルンプール・大橋喜治

出発の遅れ、実に五ヶ月。歓送会等の関係から、サギ行為の内外の非難に耐え、漸く、脱NIPPON。お元気で。

抱いていた今回の渡世のイメージに沿った生内に、またあてどもなく、どこか他の国に流き方が出来たような気がします。町の至るとれ出なければならぬかもしけないのである。これにせかせかした日本商売人の姿を見、ま例の七面倒臭い労働許可の問題がすつきりしてそういう人達に頭を下げる仕事を目下やつないまま二ヶ月毎の延長を続けて今まできたていることが、僕の安らかならざる心のですが、この十月末以降は延長を認めないと

従つて労働許可が無ければ滞在許可も駄目、

ここで倉知さんに是非無理をお願いしたい

十月末までにドイツを離れるようとの馬鹿のですが、僕の卒業証明書と成績証明書を一氣に通告を受けました。僕の勤め先もあわてて、色々と手を打つておりますが、全然落ち

があかないまま、あと二週間ばかりになつてしましました。

しばらくはドイツに留まりたいので（また、冬になれば、元々の考へにも即して、それに越

面してケルン大学でしばらく勉強出来るよ

うか。

場を迎えて行先も分らず、仕事も無しでほつつき歩けば二ヶ月でのたれ死にです）、ややピンチに追いやられております。昨年、一昨年と冬になると失業、追い立てといやなことがあって、ヨーロッパの冬の印象は、ますます暗く寒いものになりそうです。

ドイツ語は独学で続けていますが、昨日、一昨日、だまされて頼まれた通訳の仕事がかなり難しいもので、ひどい冷汗をかきました。然同行の村尾君の体不調の為め中止する事となり急に懇親会に参加出来る様になりました。

当日雨模様であつたが嵯峨塩温泉に集まつた会員は十八名と謂ふ多数で驚ろきと喜びで一杯であった。

この急場を抜け切る為にあらゆることを考えましたが、今のところ一先ず大学に籍を入れて滞在許可を獲得して、このままデュッセルドルフに留まるのが一番良いような感じです。ケルン大学に入學申請すれば申請時点で（入学試験の判定に限らず）警察への滞在許可申請理由となる用紙がもらえるらしいので、めております。会いましたら宣教くお伝え下さい。

それによつてとにかく追い立てぎりぎりのところで許可申請をしてみます。

嵯峨塩温泉懇親会記

近藤恒雄

父奥千丈岳の下で道がなくなり尾根の途中で

（四七一十一十八 倉知氏宛）

夜を明かして同行の中川孫さんに叱られた事等思ひ出話に花が咲き何時迄起きて居たか覚えがない有様である。

同行 望月達夫 久保孝一郎

柿原息 同学友

断絶・秋山・老楽（おいらく）

登山道はてなし山毛櫸の原始林

翌朝起きて見たら雨が降つて居るが紅葉が

○八月四日 強雨 大島小屋逗留

山一杯に彩り其の美しい事言葉が出ない。只「奇麗だなあ！」を連発するばかり。一行は自家用車持参の諸君に上日川峠下迄運んで貰

○八月五日 オツボ峰—竜門小屋

ひ雨の中を長兵衛小屋に出て何はともあれ二階に上つて早昼をビールで乾盃したが時間が餘り過ぎ直ぐ裂石に下るのも如何にも勿体無

ごみ一つひろいてうめぬ登山道

縦走路この日あけくれお花畠

編笠の友さきをゆく縦走路

ひ雨の中を長兵衛小屋に出て何はともあれ二階に上つて早昼をビールで乾盃したが時間が餘り過ぎ直ぐ裂石に下るのも如何にも勿体無

ごみ一つひろいてうめぬ登山道

縦走路この日あけくれお花畠

テント張かなた飯豊に稻光

山小屋は涼し星座を指す乙女

みちのくの太古の山の昇月夜

に道が無くなつてしまい到頭材木卸場の様な

○八月六日 主峰—鳥原山—朝日鉱泉

処で行詰り致仕方なく引返し砥山峠に出て二

大荷背負う子に追ひつかれお花畠

本木に下り塩山に出た。二日に渉る会もアッ

と云ふ間に過ぎて楽しい思出を又一つ懐に入

れて大磯に帰つた。又こんな懇親会はやつて

雪溪のもと水筒をみたしあい

目のまえに大朝日岳汗ぬぐう

瓜食みつみかえる縦走路

いまここに主峰ビールの杯をあぐ

登り降りかさね極暑の縦走路

○八月三日 鶴岡より大鳥池へ

朝日連峰縦走十七句

柿原謙一

久保孝一郎

は単独行はなるべく避けたい気持で、それでも伴侶がなく山への思慕が嵩じると、出かけてしまふが、ルートは避衆というわけにはい

かない。そんなことで、七月下旬には只見から三条の滝・尾瀬温泉小舎・燧ヶ岳・長藏小舎・尾瀬沼一週・三平峠と一人旅で途中毎日若い人とつれができて結構面白い山旅ができるた。

誰か適当なパートナーをまず探そう。目的地はそれから相談して決めてもよいと考えて思ついたのが部の学生さんM君でした。

M君とは昨秋国立の運動会の折、部室へ行つて初顔合せ、その後孫さん遭難の時にもまず学生側への連絡依頼した人で、私にとつては学生側への窓口と考えられる人でした。そこで早速電話して「九月初旬三日前後の山行を共にする部員はないか、行先は先方の希望になるべくそういうにするが、僕の希望は南ア方面である」と申込んだところ、「鋸山を計画しているが、どのルートをとるかは若い先輩と相談してこれから決めるから、追つて詳細連絡する」との返事で、私はその連絡を楽しく期待していた。

鋸山は今を去る三十数年前予科の二年か三年の頃の夏休みに部員でない級友を一名つれ

甲斐駒から六合目小屋に泊つて、翌日三角点往復する積りであつたが、ザイルなしに岩に馴れぬ級友をつれて行くのに自信がなくて小舎より黒戸尾根を往復してしまつたところ、余程のバリエーション・ルートでない限り、

私も行けるだろうと思つた。ところが、二・三日後に電話連絡があつて「ルートは初日角兵衛沢ビバーク、翌日登頂後熊穴沢ビバーク、

戸台にもどる。登頂はラッシュだから老体には無理につき同行せず」との返事でした。二・三日目が六合目小舎なら私も同行できるが、初めの沢を下ることと一日連続のビバークはよほど好天に恵まれない限りこちらも願い下げである。

-7-

なおその二回目の電話の返事を聞いた後で、学生さんの夏山の動向を聞いたところ、「夏山合宿後秩父東沢釜ノ沢溯行甲武信岳登頂した」旨話があつたので、信州沢出合い付近に私たちが建てた前田君たちの追悼記念レリーグの様子を質したが、M君は全然その存在を知らぬので、これが私には全然ショッキングでした。部屋で「針葉樹」や全「会報」を読んでいれば当然その存在は分つているはずで、せつかくその附近を通りながら、君たちの先輩の靈を慰めることができたのにと思うとまことに残念でならない。このぶんだと五色ヶ原の友田君の追悼碑も忘れられて、その後輩

と思うと同時代人としての私の胸は痛む。

「学生さんよ！ クライミング・アニマル否
インセクト（吉沢クマさんの談話による）

となつてがっがっピーカントするばかり
が能でない」と一苦言呈せざるを得ない。

OMCで七月下旬この釜ノ沢溯行コースの企画があつて、私も参加する予定にしていたが七月豪雨でバス不通のため中止となり、レリーフはたぶん無事だろうが私は気にかけていた。以上の経過は後日中島寛君と電話で話したが、彼も「最近は学生が話に来ない」と淋しそうであった。私のようなヨタヨタした翁樹はともかく、彼のような国際級登山家にも学生との交流がうすれているとは一体どうなつているのだろうか、私はしみじみ断絶を感じとつた次第です。

そんなわけで今年の秋山は、と云つてもまだ十一月があるのだが、九月十三、四、五の三日間初日上州伽葉山より玉原越え宝川温泉泊・それより翌日宝川上流を溯り朝日岳登頂後、清水峠小舎泊、翌翌日七ツ小舎山、大源太山を経て越後中里駅に下る秘境コースの予

定が悪天のため直接清水部落に上り、敬老の山本尚楨（勤）主計課

日の宴を清水民宿炉辺にて地酒と山菜料理と藁麦で、やつてきました。十月は会懇親山行（二七四）三〇一一

が土曜日曜で都合悪く不参加でしたが、二十日上州御荷鉢山に日帰り登山、途中オドケ山派生尾根上のもみじ林の青葉の色あせぬ見

岡田健志（自）（〇四七四）（一一一）八八一〇

事さと静かなただずまいに感銘し、萬場に至る里道の手前からふりかえり眺めた奇岩税壁

原稿募集

た。以上二回ともOMC企画山行に参加した。次号三十六号は「去年の山行特集」を掲載します。会員全員の山行表を載せる位の気持

もので、参加者数は多いが皆山好きの連中でありますのでふるつてご投稿下さい。要領は

十一月は旧友原田と両神山でいますので

た翁樹はともかく、彼のような国際級登山家行く予定にしています。（十一月二日記）いつものように

(イ) 月日

(ロ) 山名又はコース詳細

(ハ) 同行者

(ニ) 感想等手短かに

岡田謙三（自）奈良市二名町三五四九一四

(ニ) 感想等手短かに

一六三一（〇七四二）（四四）〇六二一 という様式です。

(ニ) 感想等手短かに

加地幸雄（自）一ノ二二 THOMAS

(ニ) 感想等手短かに

STREET, ST. CATHARINES,

(ニ) 感想等手短かに

S STREET, ST. CATHARINES,

(ニ) 感想等手短かに

送り先 一〇〇 千代田区丸ノ内一

(ニ) 感想等手短かに

ONTARIO, CANADA

(ニ) 感想等手短かに

景山豪治（勤）（五四四）二六三〇

(ニ) 感想等手短かに

リエチレン部 岡田健志

(勤) スペンスカ・ハンデルス銀行

千代田区丸ノ内三一三一

会費納入のお願い

(一一三) 〇一〇一

会計幹事 石田信隆

今年連休後社用でマレーシアへ行かれる予定だつた氏が予定より五ヶ月程遅れてこの程出発されました。送別会その他の関係から内外から疑惑の眼で見られサギ行為としての追及も一時は受けられたようですが（氏の手紙による）……。

赴任地は同国クアラルンプール市で、マレーシアン・シートグラス社に勤務されます。針葉樹会の皆様にくれぐれもよろしくとの伝言がありますので付け加えます。

勤務先

MALASIAN SHEET GLASS

SENDIRIAN BERHAD 2ND

FLOOR, HOKKIEN ASSOC

IATION BUILDING JALAN

WELD, KUALA LUMPUR,

MALAYSIA。

誤文訂正（傍点部分）

会報復刊三十四号

P 45 二段十六行 「転職の時代」を「転職

の時期」

P 46 二段十一行 「時間的な不運」を「瞬間的な不運」

お知らせ

故中川孫一氏の山行譜を掲載した三十四号

が届くか届かないかのうちに、柿原さんと増山さんからその空白の部分を埋める山行のご連絡をいただきました。その都度会報に載せることも考えましたが、次の三十六号に一括してまとめて出したいたいと思います。それまでに大先輩の方々には、記憶をたどってみて下さい。

○振込の場合

三菱銀行本店サービスコーナー

針葉樹会 普通預金口座

四〇一七五二九

●書留の場合

渋谷区千駄谷一一四一八 三菱銀行寮

(〒一五一) 石田信隆

四十七年度分の会費を納入下さるようお願いします。

学生が少なく皆様の所へすべて訪問することが出来ませんので極力「振込」「現金書留による郵送」により納入願います。

会務報告

昭和47年
8月～10月

三森茂充

夏の懇親山行

昭和四七年八月一九日（土）～二〇日（日）

場所 中房温泉・燕岳方面

参加者 日江井、宮城、山田亮、原田、山崎、日江井歌子（特別参加）

雨のため燕山荘までしか行けず。山田氏の大町の家に寄り、うつぶんを晴らす。

湯槽より紅やしたたる夕紅葉さすが、と感心した永井某、宴果にて部屋に引き取った後、苦吟、野郎会たまに来たのが嵯峨塩館お粗末。

会報三十四号発行

昭和四十七年十月二十五日（水）

内容 中川前会長追悼特集号。遺族二十部、

秋の懇親山行
昭和四七年十月二十一日（土）～二十二日（日）

金田近二氏若干部、真壁喜三郎氏十部、贈呈。

部創立五十周年記念・忘年会

昭和四十七年十二月一日

場所 嵯峨塩鉱泉・長平衛小屋
参加者 望月達、岩崎、近藤、柿原、日江井、伊藤恙、山田亮、山崎拡、池知、佐藤久、

金田近二名譽会員はじめ六十一名の出席を得

原、石田、有賀、永井、小林正、中村雅、大賀（以上会員十七名）柿原和夫（特別参加）

又、海外から祝電が届くなど盛会だった。詳盛大なる宴会。途中、柿原氏「一句できた」細は次号に掲載予定。

と寄せ書きに、

以上



編集後記

会報復刊三十五号をお送り致します。



この所海外へも会報を送っておりますが、そのせいか海外だよりも良く届きます。同期の方々へはもつときているのでしょうかが本号ではその一部を載せました。一度海外在住者の文章の特集も試みたいものです。



会費の集まりが悪く台所が苦しくて困っています。皆様の振込んで下さるのを心から期待しております。



今年の忘年会は山岳部創立五十周年記念もかねて盛大に行ないました。学生の方も一年生が六人も入り、訓練次第では住時の隆盛も期待されます。O.B.の方々の絶大なご声援を期待します。

(岡田健志)

針葉樹会報 復刊第 35 号

発行日 1972年12月

発行人 針葉樹会 代表 望月 達夫

編集人 千代田区丸ノ内1-3-2 住友化学工業(株)

東京ポリエチレン部 岡田 健志

印刷所 美豊堂
